

直方市を
応援！

企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に、寄付額の6割を法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による通常の寄付の軽減効果（寄付額の約3割）を含め、寄付額の**最大約9割の軽減効果があります。**

寄付額

企業版ふるさと納税を活用した寄付の軽減効果

通常の寄付軽減効果

損金算入による軽減
約3割
国税 + 地方税

税額控除
6割
法人住民税 + 法人税 / 法人事業税

企業負担
約1割

- 直方市外に本社がある企業が対象です。
- 1回あたり10万円以上の寄付が対象となります。
- 寄付をすることの見返りとして経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業にとってのメリット

社会貢献

企業としてのPR効果
(SDGsの達成など)



地方公共団体との新たな
パートナーシップの構築

地域資源などを活かした
新事業展開

直方市の主な地方創生プロジェクト（寄付対象事業）



掲載事業は一例です。その他の事業でも募集しています。

事業および事業内容は変わる可能性がありますので、最新の内容については直方市役所ホームページをご確認ください。

人材育成と賑わいづくり

寄付目標額 39,000千円

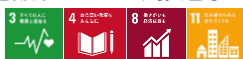
中学生海外派遣事業



世界を知る。わたしを見つける。
Let's Learn about the world and find yourself.

直方市は、グローバル人材を育成するための「**中学生・高校生海外派遣事業**」、創造力を育む体験機会の「**幼児教育のための観劇等体験事業**」、デジタル人材を育成する「**中高生未来のIT技術者育成事業**」、若者の経済的負担軽減を図る「**奨学金返還支援事業**」などさまざまな人材育成の取り組みを実施しています。

中心市街地の賑わいづくりとして、“花と蒸気機関車（SL）のまち・のおがた”をブランディングしていくため「**花とSLのまちバスツアー運営事業**」やJR直方駅西側に「**SL広場整備事業**」、多様な人材の参画を目的とした「**中心市街地賑わいづくり推進事業**」にも取り組んでいます。



結婚・出産・子育て支援の充実

寄付目標額 100,000千円



子どもを産み育てたいという希望に応えるため、市全体で子どもを育て家庭を支える環境整備を進めています。

例えば、乳児・幼児に必要な保育所を確保し、保護者が安心して働ける基盤を構築する「**就学前教育・保育施設整備事業**」を始め、経済的負担を直接的に軽減する「**多子世帯への副食費の補助**」や「**障がい児保育補助**」、待機児童解消に向けた「**保育士への奨学金返済支援**」、「**保育士就職支援補助制度**」など多角的な支援を行っています。また、聴覚障害を早期に発見し、適切な支援につなげるための「**新生児聴覚検査助成事業**」なども実施しています。



ものづくりのまちの強化

寄付目標額 12,000千円



直方市が運営する直鞍産業振興センター・EMCサイトは、直鞍地域をはじめ広域を対象に、電子電気機器の電磁両立性試験（EMC）を実施しています。「**電子電気機器産業を支えるEMCサイトの強化**」に取り組み、最新の測定機器への更新や施設改修などを行うことで、更なる電子電気機器産業の発展を支援していきます。

その他、新たな創業や経営力強化を多角的に支援する「**創業等経営支援事業**」や、高校生の市内就職率の向上・将来の産業人材の育成・定住へと繋げることを目的とした「**高校生を対象とした合同企業説明会実施事業**」を行うなど、ものづくりのまちの強化を目指しています。



公民学連携による脱炭素・SDGsの推進

寄付目標額 18,000千円



直方市は、脱炭素化とSDGs達成に向けた取り組みを積極的に推進しています。

脱炭素社会の実現に向けて、企業の省エネ設備導入支援を行う「**脱炭素推進事業**」を実施しています。

さらに、SDGsの普及啓発を目的に、企業・団体が連携して行う「**のおがたSDGsフェスタ**」を開催しています。健康分野では「**健康ポイント事業**」や「**幸せウォーキング**」を通じて行動変容を促進しているほか、多文化共生社会実現を目指して「**日本語教室事業**」も実施しています。その他、地域コミュニティの再構築を目指し、子どもたちが安心して過ごせる「**こども食堂**」を実施する団体への支援も行っていきます。

